

上手に使おう! ジェネリック医薬品

新薬(先発医薬品)の特許期間が満了したあとに発売されるジェネリック医薬品(後発医薬品)。新薬と同じ有効成分、同等の効きめをもち、品質や安全性も確かなものです。開発コストが抑えられるため新薬より安価で、みなさんの窓口負担の軽減につながります。



こんな人にとくにおすすめです

ジェネリック医薬品の価格は新薬の半額以下になることもあります。そのため、糖尿病、高血圧、脂質異常症(高脂血症)などの生活習慣病や慢性疾患で、長期間薬を服用している人は、とくにおすすめです。

糖尿病と脂質異常症の治療を受けている場合は、10年間で17万円以上の差

1年間で
これだけお得!
(自己負担割合
3割の場合)

	新薬	ジェネリック医薬品	差額
高血圧の代表的な薬	8,760円	2,190円	6,570円
糖尿病の代表的な薬	23,000円	13,140円	9,860円
脂質異常症の代表的な薬	13,140円	5,480円	7,660円

あなたが
のんでいる薬を
調べてみましょう

下記のホームページでは、あなたがのんでいる薬にジェネリック医薬品があるか、また薬価なども調べることができます。

かんじゃさんの薬箱

<http://www.generic.gr.jp/>

※薬代だけの金額です。患者が薬局の窓口で支払う金額は、薬代のほかに技術料などが含まれます。
出典:日本ジェネリック医薬品学会「ご存知ですか?家計にやさしいお薬を!」

ジェネリック医薬品を使うには

添付のジェネリックお願いカードを医療機関の窓口や医師・薬剤師に出しましょう。処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に医師の署名がなければ、ジェネリック医薬品へ変更できます。また、短期間、ジェネリック医薬品を試せるよう、新薬との分割調剤も可能ですので、薬剤師に相談してみましょう。
※ジェネリック医薬品はすべての新薬に対応しているわけではありません。また、病状や体質などにより使えないケースがあります。医師や薬剤師とよく相談しましょう。

☞ 切り取って必要なときにご利用ください。

ジェネリック通知サービスを始めました

当健康保険組合では平成20年10月より「ジェネリック利用促進のお知らせ」を下記の方を対象に通知いたしております。

- お薬を長期間服用されている方
- 自己負担削減額が月間500円以上の方



ジェネリックお願いカード

私はジェネリック医薬品を希望します

- 処方する薬にジェネリック医薬品がある場合には、ジェネリック医薬品をお願いします。
- ジェネリック医薬品がない、または適切でない場合には、先発医薬品をお願いします。
- このカードは保険証・診察券などと一緒にお願いします。

氏名